

運送業界の健康支援を生きがいに



107 国交省・全ト協が健康管理マニュアルを発売

4月18日、国交省から「事業用自動車運転者の健康管理マニュアル」改訂版が発出されました。このマニュアルは平成22年7月に策定された「事業用自動車の運転者の健康管理マニュアル」の改訂版です。

健康起因による事故が続発する中、職業ドライバーの健康管理はさらに強く求められています。改訂のポイントは、定期健康診断受診後のフォロー、これを受けての就業上の措置、生活習慣のコントロール等で、前回のマニュアルより、さらに踏み込んだ内容となっています。

■全ト協は「健康起因事故防止マニュアル」を
 続いて5月、PDFで出される予定が、全ト協の「健康起因事故防止マニュアル」です。実は本マニュアルはOCHIS

が受託し、作成に当たりました。なぜ、OCHISがこのような大役を仰せつかったのか。それは長年にわたり、トラック業界に特化した健康管理支援をトラック事業者様とともに推進してきたからほかなりません。今回のマニュアル作成にも複数の事業者様から、写真や資料提供という形で協力をいただきました。したがってOCHISのノウハウを、事業者様の目線で実務的にまとめあげたものといっても過言ではありません。

■読みやすく、すぐ使えるマニュアル
 OCHISといえば「睡眠時無呼吸症候群(SAS)対策事業」という印象が強いと思いますが、実は本連載のタイトル

通り、根底はドライバーの心身の健康支援で、その有効な対策の一つに睡眠時無呼吸症候群(SAS)対策があります。もちろん、マニュアルでは睡眠時無呼吸症候群検査の社内運用方法についても詳しく触れていますが、定期健康診断を全員が受診するためのポイントや活用など、内容はあくまで中小トラック事業者様を意識したものと

なっています。そして、さらにOCHISが得意とするところは、「読みやすい」「わかりやすい」「具体的な情報提供です。例えば、不規則勤務の多いドライバーさんのためのコンビニメニューの選び方を説明したページは、カライラストをふんだんに使い、PDFをプリントアウトすれば、そのまま掲示できるようにレイアウトしていますので、そのまま安全衛生委員会でお使いいただくこともできます。

健康起因事故が急増の背景には、ドライバーの高齢化があります。これからの安全対策の優先順位は、「健康管理」ではないでしょうか。

《全日本トラック協会 SAS 検査受託機関》
 NPO 法人 ヘルスケアネットワーク (OCHIS)
 副理事長 作本 貞子
 「安全と健康を推進する協議会(両輪会)」代表
 TEL : 06-6965-3666
 FAX : 06-6965-5261
 東京オフィス TEL : 03-3295-1271
 E-mail sakumoto@ochis-net.com
 HP http://sas.ochis-net.jp/

(次回は6月号に掲載)